

結論

最近、アジアにおける日本漫画とアニメの伸び率は緩慢であり、国によっては横ばい現象も見られる¹⁴⁾。『スラムダンク』と『ドラゴンボール』の連載が終わってから、市場を支える超人気作品はまだ出現していない。これから、シンガポールの日本漫画とアニメはどのようなのだろうか。筆者は楽観的な見方をしている。シンガポールにおける日本漫画とアニメの発展の余地は大きく、成長し続けるだろうと予想できる。日本の漫画とアニメはもちろん、日本の大衆文化も今後更に東南アジアの中に広がるだろうと考えられる。実際どれほど発展できるかは、地元のテレビ局がもっと日本アニメを放送するか、政府の検閲が緩くなるか、もっと日本漫画の英語版とマレー語版が輸入されるかといったような条件次第である。

注

- 1) See John Lent, "Manga and Anime in Asia," *Anime UK* (May 1995): 8-10; Wai-ming Ng, "A Comparison of Japanese Comics in Southeast Asia and East Asia," *International Journal of Comic Arts*, 2: 1 (2000): 44-56.
- 2) See Tang Beng Luan, *The Japanese Occupation, 1942-1945* (Singapore: Times Editions, 1996), p. 111.
- 3) 1970年代末及び1980年代初めに香港のカンフー漫

画がシンガポールとマレーシアの若者の間に大人気であった。See John Lent, "Local Comic Books and the Curse of Manga in Hong Kong, South Korea and Taiwan," *Asian Journal of Communication*, 9: 1 (Singapore, 1999): 108-114.

- 4) シンガポールにおける1980年代以降の日本アニメの歴史と現状について、Wai-ming Ng, "Japanese Animation in Singapore: A Historical and Comparative Study," *Animation Journal* 9: 1 (2001 出版予定) を参考。
- 5) シンガポールにおける1980年代の日本アニメの受け入れについて、See Erhard U. Heidt, *Mass Media, Cultural Tradition, and National Identity; The Case of Singapore and Its Television Programmes* (Saarbrücken: Verlag Breitenbach Publishers, 1987), pp. 197-200.
- 6) 岡野直「和風で息抜き漫画カフェ」『朝日夕刊』1999年3月29日、2頁。
- 7) 佐藤泰「日本の姿知る窓口に」『朝日新聞』2000年7月30日、経済版、6頁。
- 8) 1999年1月29日 創芸出版社の取締役梁秀蓉との面談による。
- 9) 郭俊海、大北葉子「シンガポール華人大学生の日本語学習の動機について」『日本語研究』2002 出版予定。
- 10) See Moh Yu Ming and Pao Pei Yu, "Impact of Manga on Singaporean Youths," in David Chan and Mary Chuah, eds., *Memory and Identity* (Singapore: Authors, 1998), pp. 115-119.
- 11) ウン・ワイ・ミン (Ng Wai-ming) 「若者たちは、ドラえもとポケモンの国」*Newsweek* 日本語版 2001年1月31日 40頁。
- 12) 1999年12月にシンガポール国立大学社会学科張漢音博士の調査による。(未出版)
- 13) See *Comic Cafe Newsletter*, June 1999, p. 2.
- 14) 「滑落する日本製アニメ・マンガ」『中央公論』2000年9月号、201-231頁。